

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月3日

上場取引所 JQ

上場会社名 曾田香料株式会社

コード番号 4965 URL <http://www.soda.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中地 俊朗

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門長 (氏名) 中島 直文

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

TEL 03-5645-7340

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	12,227	△17.4	885	△55.6	810	△59.9	451	△63.3
21年3月期第3四半期	14,803	—	1,994	—	2,022	—	1,230	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	45.16	—
21年3月期第3四半期	123.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	18,912	12,155	63.3	1,197.18
21年3月期	18,336	11,626	62.7	1,150.66

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 11,967百万円 21年3月期 11,502百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	8.00	18.00
22年3月期	—	6.00	—		
22年3月期 (予想)				6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	△10.9	1,000	△52.0	900	△56.8	500	△60.1	50.02

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 10,000,000株 21年3月期 10,000,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 3,508株 21年3月期 3,508株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 9,996,492株 21年3月期第3四半期 9,996,811株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的不況下、輸出と生産は回復しつつあるものの、デフレの進行と円高の継続により企業収益は依然低水準にあり、このため設備投資の抑制や雇用・所得環境の悪化が継続する厳しい状況が続いており、本格的な景気回復にはまだ時間を要するものと思われま

す。香料業界におきましても、不況による最終製品の消費低迷や消費者の低価格志向を背景とした製品価格の低下等により国内市場の売上は減少しており、加えて天候不順の影響もあり、厳しい環境が続きました。

このような状況下、当社グループは収益改善に努め、生産・販売・研究・開発が一体となって、製品開発における顧客ニーズへの対応力を強化してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間は、世界的不況と競争激化の影響を強く受けた合成香料・ケミカル製品の大幅販売量減とそれに伴う生産調整による製造原価アップ等により、売上高は12,227百万円（前年同期比17.4%減）、営業利益は885百万円（同55.6%減）、経常利益は810百万円（同59.9%減）、四半期純利益も451百万円（同63.3%減）となりました。

（注記）当社グループは、単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、事業の種類別セグメント情報はありません。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第3四半期末の資産残高は18,912百万円となり、前連結会計年度末と比較して575百万円増加しました。これは現金及び預金の増加733百万円、受取手形及び売掛金の増加1,057百万円、たな卸資産の減少762百万円、固定資産の減少418百万円などによるものです。

##### （負債）

当第3四半期末の負債の残高は6,757百万円となり、前連結会計年度末と比較して46百万円増加しました。これは支払手形及び買掛金の増加546百万円、借入金の増加205百万円、未払法人税等の減少148百万円、賞与引当金の減少206百万円及び設備関係支払手形等その他流動負債の減少388百万円などによるものです。

##### （純資産）

当第3四半期末の純資産の残高は12,155百万円となり、前連結会計年度末と比較して529百万円増加しました。これは、利益剰余金の増加407百万円、少数株主持分の増加64百万円及び評価・換算差額等の増加57百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は63.3%となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して、連結の範囲の変更に伴う増加額39百万円を含め733百万円増加し、3,454百万円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは638百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,372百万円（前年同期は675百万円の獲得）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が806百万円、減価償却費が517百万円となり、また法人税等の支払額が451百万円となったこと及びたな卸資産の減少844百万円、売上債権の増加917百万円、仕入債務の増加521百万円などによるものです。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は733百万円（前年同期は583百万円の使用）となりました。これは主に、ケミカル製品製造設備等の有形固定資産の取得による支出724百万円によるものです。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は60百万円（前年同期は800百万円の使用）となりました。これは、借入金の増加210百万円と配当金の支払い139百万円及び少数株主への配当金の支払い10百万円によるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の通期見直しにつきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、現段階では平成21年11月5日発表の業績予想の修正は行っておりません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ①簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,454,529	2,720,889
受取手形及び売掛金	4,654,774	3,596,801
商品及び製品	1,308,365	1,759,880
仕掛品	1,527,448	1,924,562
原材料及び貯蔵品	1,336,986	1,250,829
その他	315,425	340,299
貸倒引当金	△13,465	△3,289
流動資産合計	12,584,065	11,589,973
固定資産		
有形固定資産	4,822,198	5,158,281
無形固定資産	108,605	122,135
投資その他の資産	1,397,557	1,466,434
固定資産合計	6,328,360	6,746,852
資産合計	18,912,426	18,336,826
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,219,310	1,673,086
短期借入金	1,005,680	1,000,000
未払法人税等	158,731	307,225
賞与引当金	202,757	409,356
役員賞与引当金	6,755	11,297
その他	610,660	999,108
流動負債合計	4,203,895	4,400,074
固定負債		
長期借入金	500,000	300,000
退職給付引当金	1,835,039	1,825,724
役員退職慰労引当金	106,175	156,614
その他	112,111	28,375
固定負債合計	2,553,326	2,310,714
負債合計	6,757,221	6,710,788

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,490,000	1,490,000
資本剰余金	1,456,855	1,456,855
利益剰余金	9,012,513	8,605,209
自己株式	△2,361	△2,361
株主資本合計	11,957,007	11,549,702
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	107,614	74,307
繰延ヘッジ損益	△902	△25,058
為替換算調整勘定	△96,093	△96,391
評価・換算差額等合計	10,618	△47,143
少数株主持分	187,578	123,477
純資産合計	12,155,204	11,626,037
負債純資産合計	18,912,426	18,336,826

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	14,803,195	12,227,366
売上原価	9,885,545	8,519,078
売上総利益	4,917,649	3,708,287
販売費及び一般管理費	2,922,713	2,822,849
営業利益	1,994,935	885,438
営業外収益		
受取利息	6,871	3,389
受取配当金	10,537	9,464
持分法による投資利益	15,400	—
その他	13,795	9,442
営業外収益合計	46,605	22,295
営業外費用		
支払利息	8,940	13,590
債権売却損	7,280	590
休止固定資産減価償却費	—	76,189
その他	3,054	7,025
営業外費用合計	19,275	97,396
経常利益	2,022,265	810,338
特別損失		
固定資産除却損	9,040	3,575
和解金	12,000	—
特別損失合計	21,040	3,575
税金等調整前四半期純利益	2,001,224	806,762
法人税等	770,317	317,703
少数株主利益	—	37,573
四半期純利益	1,230,906	451,485

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,001,224	806,762
減価償却費	487,067	517,366
のれん償却額	—	12,272
固定資産除却損	7,099	3,506
持分法による投資損益 (△は益)	△15,400	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	379	7,826
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△239,490	△206,804
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,814	△4,542
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12,677	△41,124
受取利息及び受取配当金	△17,408	△12,853
支払利息	8,940	13,590
和解金	12,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△477,681	△917,685
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△909,654	844,414
仕入債務の増減額 (△は減少)	758,957	521,609
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	—	221,581
その他	95,078	58,915
小計	1,720,975	1,824,836
利息及び配当金の受取額	34,332	12,581
利息の支払額	△9,455	△14,128
和解金の支払額	△6,000	—
法人税等の支払額	△1,063,939	△451,116
営業活動によるキャッシュ・フロー	675,911	1,372,174
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△9,715	△10,337
有形固定資産の取得による支出	△471,452	△724,449
無形固定資産の取得による支出	△13,581	△1,080
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△89,021	—
その他	△183	2,067
投資活動によるキャッシュ・フロー	△583,954	△733,798
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000	△189,360
長期借入れによる収入	200,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△600,000	—
自己株式の取得による支出	△837	—
配当金の支払額	△199,915	△139,966
少数株主への配当金の支払額	—	△10,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△800,753	60,560
現金及び現金同等物に係る換算差額	192	△5,285
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△708,602	693,650
現金及び現金同等物の期首残高	2,949,677	2,720,889
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	39,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,241,074	3,454,529



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

当社グループは単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,939,761	1,287,605	12,227,366	—	12,227,366
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	340,295	—	340,295	(340,295)	—
計	11,280,056	1,287,605	12,567,662	(340,295)	12,227,366
営業利益	683,120	196,943	880,063	5,375	885,438

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア……………中国、台湾

## 〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,438,921	1,595,773	466,192	152,497	3,653,384
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	14,803,195
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	9.7	10.8	3.2	1.0	24.7

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	2,424,992	607,682	297,809	148,407	3,478,891
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	12,227,366
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	19.9	5.0	2.4	1.2	28.5

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア…中国、韓国、台湾
- (2) 欧州……スイス、英国、フランス
- (3) 北米……米国
- (4) その他…南米、オセアニア

3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。